



タック TACの家庭菜園教室



TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

連作障害を防ごう

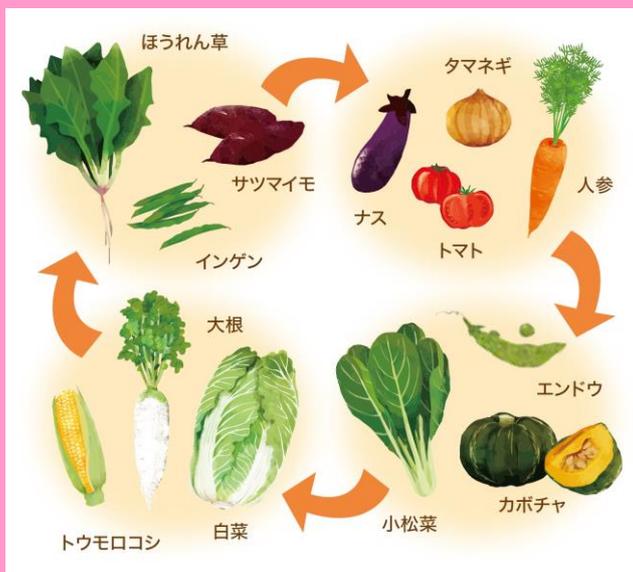
「同じ場所で同じ科目(種類)の作物を繰り返し栽培する＝連作」をすると、生育が悪くなったり枯れてしまう「連作障害」が発生します。

連作をすると土壌中の微生物や有機物の含有量のバランスが崩れるほか、その作物を好む菌や病害虫の密度が高くなります。連作は土壌病害や生理障害の発生を助長し、収量が減る原因となる場合があるので対策が必要です。

栽培スケジュールを立てよう

連作防止に向けて、「輪作」を取り入れた年間の栽培スケジュールを立ててみましょう。輪作とは、畑を4～5区分に分けて、作る作物を毎年回転させていく栽培方法です。

輪作する際も同じ科目を植えないよう注意しましょう。春夏の野菜で例えると…→**トマトを栽培した所にピーマンを作付したい→どちらもナス科の野菜＝連作**となってしまいます。この場合はキュウリや枝豆など、別の科目の野菜を作付けするようにしましょう。



春夏作物を栽培した後に秋冬作物を作付けする際、同じ科目を植えないよう注意しましょう。



栽培スケジュールを立てたら圃場を図面化して書き出しておくこと、前作に何を栽培した区画が明確となり、簡単に連作を防ぐことができます。

【栽培間隔をあけるべき期間（輪作年限）】

輪作年限	作物
4～5年	エンドウ ゴボウ ショウガ スイカ ソラマメ
3～4年	トマト ナス シシトウ・唐辛子 枝豆 サトイモ ピーマン・パプリカ ヤマイモ 食用ホオズキ
2～3年	イチゴ インゲン オクラ カリフラワー キャベツ キュウリ ゴーヤ ジャガイモ セロリ 大根 白菜 ブロッコリー 落花生 レタス ラディッシュ
1～2年	カブ 小松菜 春菊 チンゲンサイ ニラ 人参 ネギ ハウレンソウ 水菜 アサツキ・ワケギ パクチー
なし (連作障害が出にくい)	カボチャ タマネギ サツマイモ シソ ズッキーニ トウモロコシ ニンニク ラッキョウ アスパラガス クウシンサイ

【春夏栽培から秋冬栽培への作付け切替オススメ野菜】

春夏に栽培		その後	秋冬に栽培	
ナス科	トマト ナス ジャガイモ 等	→	アブラナ科	キャベツ 大根 等
ウリ科	キュウリ スイカ メロン 等	→	ヒガンバナ科	ネギ 玉葱 ニンニク 等
マメ科	枝豆 インゲン 等	→	アブラナ科	白菜 ブロッコリー 等

輪作を行えば簡単に連作を防ぐことができます。区分したうちの一区画を「1年休み区画」にするローテーションもオススメです。また、土壌中の栄養素や微生物のバランスが取れるよう、追肥やコンパニオンプランツの利用も行うようにしましょう。

お申込み・お問い合わせ

JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC) 経済課 ☎0284-70-3071
または 北支店(経済)☎0284-43-8880 西支店(経済)☎0284-65-1139